



ベッドセンサーの使用方法について

Q

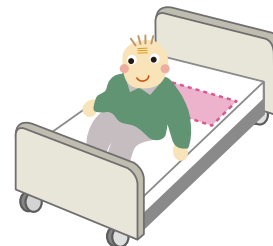
ベッドセンサーを初めて使います。
基本的な使い方や長く使えるコツなど教えてください！

A

OKです！安全・あしんしてご利用いただくために
正しい使用を心がけてくださいね！

ベッドセンサー

起き上がりをお知らせします。



どんな患者にベッドセンサーは有効ですか？

起き上がりとお知らせする「ベッドセンサー」は
たくさん種類がある離床センサーの中で
一番早いタイミング で知ることができるので、
転倒の危険度が高い患者に適しています！

こんな方に…

- 転倒の危険度が高い患者
- コールマットが適合しない患者
- ベッド上の動きをいち早く知りたい患者

ベッドセンサーの設置は？

ベッドセンサーは、シーツやベッドパッドの下に敷くので、マットタイプの
センサーを避けてしまう患者にも向いています。

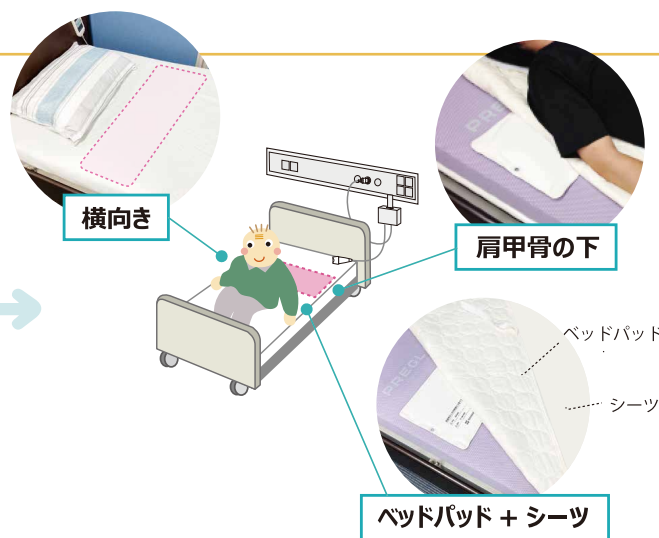
ベッドセンサーを設置する際、設置位置に気を付けてください。

【設置のポイント】

- ① ベッドに対して横向き
- ② 患者の肩甲骨あたりに敷く
- ③ ベッドセンサーの上に ベッドパッド → シーツ の順にかぶせる

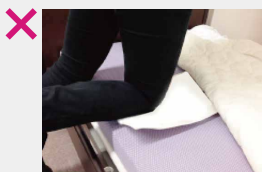
また、褥瘡対策の柔らかいマットレスには対応していません。

ベッド上で体動が激しく、頻回報知してしまう患者には、動作遅延を
設定することもできます。* 動作遅延設定参照



【長くお使いいただくために…】

局部的な荷重がかかる



センサーに局部的に荷重がかかると、故障の原因につながります。

床敷きタイプとして代用



故障につながる恐れがあります。
床敷き専用の「コールマット」をお使いください。

ギャッジアップによるズレ



ギャッジアップによりセンサーがズれて正しい
タイミングで作動しない恐れがあります。
両サイドにあるハトメ穴を利用し紐などで
センサーを固定してください。

新機能 動作遅延設定

「動作遅延時間」とは、センサーが作動するまでの時間です。3秒に設定すると3秒以上、上体を起こすと報知します。

【起き上がり】0.5・1.5・3秒

